

子ども真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和7年9月8日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 78
校長 田中 成年

＜子ども真ん中教育＞

～命を守る行動～

9月3日の2時間目に「不審者対応」の避難訓練を行いました。子供たちの不安が大きくなるため、実際に不審者役が侵入をした場面を作るのではなく、侵入したと想定して、どのように命を守る行動をとると良いのか、動きを確認する訓練を行いました。



子供たちは、少しおしゃべりがあったものの、真剣に避難場所の運動場に避難することができました。



不審者は一人とは限らず、複数の場合もあります。学校であればある程度先生方の指示を受けて避難することはできますが、休み時間であったり、掃除の時間であったりした場合には、自分で判断して行動する必要があります。普段から放送を聞くことや人の話に耳を傾けることができるようにしておくことが大切です。



今回の避難訓練では、登下校や放課後、遊んでいる場所でも周囲に気を配りながら行動する大切さについて学びました。



日本全国で、人の命が奪われる事件が相次いでいます。日常的に、大人と一緒にいない時間帯が多いので、普段から自分の身を守る行動をとることができるように、心がけてもらいたいと思います。ご家庭でも話題にさせていただき、子供たちが安全に過ごすことができる方法を一緒に考えていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

畝刈小学校は、

「子供ど真ん中の学校」

「豊かな心を持ち、自ら考え行動する児童の育成」を目指しています。